



会社概要 2021年12月31日現在

商号 ホシザキ株式会社  
(HOSHIZAKI CORPORATION)  
所在 本社 〒470-1194  
愛知県豊明市栄町南館3番の16  
(代表電話) 0562-97-2111  
設立 1947年2月5日  
市場 2008年12月10日：東京証券取引所市場第一部  
並びに名古屋証券取引所市場第一部  
資本金 80億52百万円  
事業内容 製氷機、冷蔵庫、食器洗浄機をはじめとする  
各種フードサービス機器の研究開発及び製造販売  
決算 12月31日  
従業員数 (連結) 12,923名 (単体) 1,209名  
連結子会社 国内17社 海外33社(合計50社)  
持分法適用会社 海外1社

役員 2022年3月23日現在

取締役会長	坂本 精志	常務執行役員	落合 伸一
代表取締役社長	小林 靖浩	常務執行役員	古川 義朗
取締役	友添 雅直*	執行役員	後藤 修
取締役	後藤 昌彦*	執行役員	寺嶋 清二
取締役 常務執行役員	丸山 暁	執行役員	松永 陽介
取締役 常務執行役員	栗本 克裕	執行役員	関 隆一郎
取締役 常務執行役員	家田 康嗣	執行役員	藤岡 涉
取締役 常務執行役員	矢口 教	執行役員	秋田 孝
取締役 常勤監査等委員	水谷 正	執行役員	大場 則夫
取締役 監査等委員	元松 茂*	執行役員	原 幹弘
取締役 監査等委員	柘植 里恵*		※は社外取締役

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎年3月  
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 名古屋市中区栄三丁目15番33号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵送物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)  
インターネット <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>  
ホームページURL [https://faq-agency.smtb.jp/?site\\_domain=personal](https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal)  
(よくあるご質問(FAQ))

■ 配当金のお振込指定手続きについて  
配当金の受取り方法としてお振込によるお受取りをご選択いただくことができます。株券電子化により従来の配当金振込口座のご指定方法に加えてあらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取や証券会社の口座でも配当金のお受取が可能となります。確実に配当金をお受取いただくためにもこれらの振込による配当金のお受取をお勧めします。詳しくは、お取引証券会社等にお問合せください。

■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会  
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

■ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



ホシザキ株式会社

〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 総務部総務課  
TEL:0562-96-1111 FAX:0562-97-7427

株主・投資家の皆さまへ  
ホシザキグループ  
報告書

第76期 (2021年1月1日~12月31日)



# 中長期的な利益成長及び企業価値向上に向けた成長戦略のスタート



代表取締役社長  
小林 靖浩

## 存在意義

私たちホシザキグループは、多様化する「食」に対するニーズの変化に対応し、お客様のみならず社会に貢献できる「進化する企業」であることを目指します。これを満たすため、独自の技術に基づくオリジナル製品を創造し、より快適でより効率的な食環境へ向けての新たな提案と迅速かつ高品質なサービスを提供します。

## 経営姿勢

- 遵法はもとより社会と社員から信頼される会社づくり
- 透明性のある経営 議論のできる経営の実践
- 事業活動と環境との調和 働きやすい職場環境の実現

良い製品は良い環境から

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

## 当期(2021年12月期)の業績の総括

当連結会計年度における日本及び世界経済は、国内では新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令等の経済活動への制約があったものの、ワクチン接種が進む中、新規感染者が抑えられたこと等により段階的に経済の持ち直しの動きが見られました。世界においても新型コロナウイルス感染症の新規感染者が増加している地域があるものの、全体的には経済の持ち直しの動きが見られました。しかしながら、サプライチェーンの混乱による部材調達の問題、材料費の高騰等による世界的な物価の上昇や新変異種による感染の再拡大が続いており、先行き不透明な状況が続いています。

フードサービス業界の状況は、国内では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う3回にわたる緊急事態宣言の発令による営業活動制約により市場回復は限定的となりました。海外では、米国を中心とした経済活動回復に伴い、飲食店の設備投資需要は好調に推移しましたが、世界的な材料や部品不足による調達難や、人手不足により供給制約が生じる中、不確実性の高い状況が継続しました。

このような環境の中、当社グループは、国内では、新型コロナウイルスの感染防止に努めつつ、主力製品である製氷機・冷蔵庫等の拡販に加え、コロナ禍において中食・宅配食へのシフト等変化する市場・顧客ニーズに対応した調理機器及び衛生管理機器

の拡販等に努めると共に、飲食店以外の市場開拓にも注力いたしました。

海外では、材料費高騰、サプライチェーンの混乱、人手不足の影響を受け、製品供給面、収益面で厳しい事業環境が継続しましたが、米国を中心とした経済活動回復に伴う飲食店等の需要拡大により、主力製品の販売は堅調に推移しました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は2,744億19百万円(前期比15.2%増)、営業利益は249億31百万円(同35.1%増)、経常利益は311億65百万円(同78.9%増)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は216億79百万円(同89.5%増)となりました。

## 2022年12月期の取り組み

2022年12月期連結業績予想については、売上高2,900億円(対前年5.7%増)、営業利益265億円(対前年6.3%増)の達成を目指します。新型コロナ変異種の世界的拡大により、国内においては一部地域におけるまん延防止等重点措置の実施、海外主要国においては新型コロナウイルス感染者数が高止まりしています。また、全世界的な部材不足や物価上昇等、フードサービス業界を取り巻く事業環境への逆風は継続しています。一方、新型コロナウイルス感染の段階的な収束は確実視されており、当社グループはこの逆風下においては、限られた需要を確実に獲得し、回復期においては急速な需要増に追従できるよう準備を進めてまいります。

特に上期においては、部材不足への対応が最重要課題となります。昨年以降、国内・海外共に、電子部品や樹脂材等の調達が難航しており、お客様への納期回答及び納品に通常より長いお時間をいただくことが想定されます。国内においては、主要製品に使用される断熱材の一部原料の供給停止が1月末に通知、即実施されました。この影響は、当社に限らず、他競合企業、建材業

界等業界を跨いで継続しております。このような中、当社においては、お客様への状況のご説明に全力で取り組むと共に、製品供給の早期正常化に向け、最大限の調達努力に加え、代替品の活用(生産手法の見直しを含む)等を進めてまいります。

更に、国内における取り組みとして、積極的に収益性の改善を目指します。昨年より製造部門を中心に「絶対品質、最大効率」を大方針とした全社プロジェクトに継続して取り組み、着実に体質改善を実現しつつあります。引き続き品質の改善を継続しつつ、更に踏み込んだ生産効率改善(収益性改善)に向け取り組んでまいります。

海外においては、引き続き積極的な売上成長を目指します。1月にイタリアの業務用製氷機メーカーのBrema社の全株式の取得、子会社化を発表しておりますが(5月初旬に手続き完了予定)、特に欧州地域において、販売エリアが当社グループ子会社(Hoshizaki Europe社)と補完関係にあることから、今後Brema社とシナジー創出活動を推進し、製氷機市場No.1を目指し取り組んでまいります。また、現在インドのWestern社及びトルコのOZTI社において、製造拠点の新設・増設に取り組んでおり、伸び行く市場における需要を確実に獲得し、成長につなげてまいります。

2022年2月9日に、株式の流動性向上と投資家層拡大を目指した株式分割(1株を2株に分割)、2022年12月期の配当予想(株式分割前換算で110円から120円へ実質10円増配)、中間配当の開始(6月30日を基準日)、株主還元基本方針の変更(従来の連結配当性向30%~40%の目標から総還元性向40%以上へ)を発表いたしております。引き続き、成長投資を優先しつつ、短期的な業績変動に左右されない、継続的かつ安定的な株主還元を目指してまいります。

株主の皆さまには、今後とも企業価値向上に向けた当社グループの挑戦にご期待いただき、引き続き当社グループの経営にご理解とご支援をお願い申し上げます。

# 五大陸をつなぐ世界No.1ブランドを目指して、国内外で積極的な取り組みを推し進めています。

## 国内での取り組み

### チップアイスディスペンサーがグッドデザイン賞を受賞



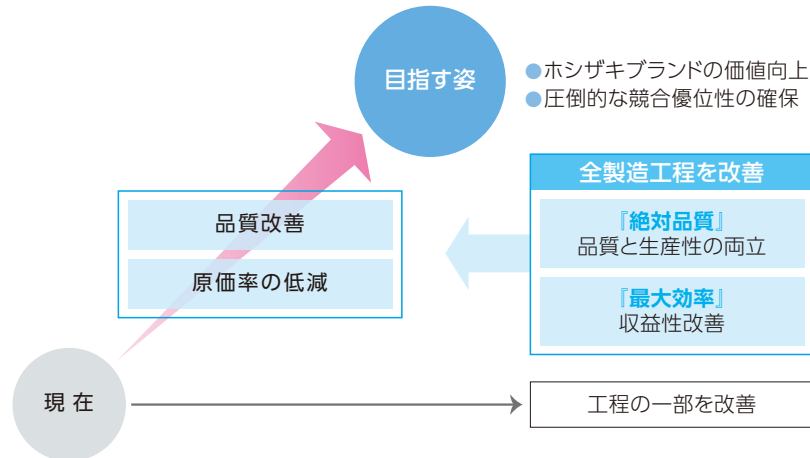
2021年8月に発売したチップアイスディスペンサーが「2021年度グッドデザイン賞」を受賞しました。デザイン性だけでなく、非接触式の抽出方式や衛生面を追求したダブルクリーンシステムなどコロナ禍に合った仕様も高く評価されました。

#### 新たな仕様

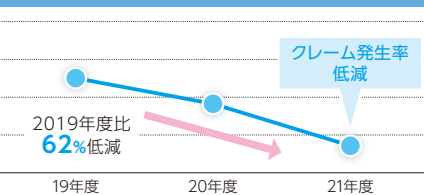
- 1 ダブルクリーンシステム** 水回路を定期的に洗浄する“自動洗浄機能”と、除菌効果のある紫外線を照射してタンク内を清潔に保つ“UV照射機能”により衛生面を向上。
- 2 人感センサー** 手をかざすだけで水や冷水を注出できる人感センサー仕様により、利用者が多い場所でも安心して利用可能。
- 3 脱着式ドレンパン（水受け）** ドレンパンを固定式から脱着式に変更。丸ごと洗浄が可能となり、日々のお手入れが効率化すると共に衛生面も向上。

### 製造工程最適化（絶対品質・最大効率）の取り組み

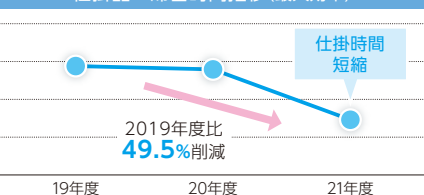
製造部門にて、「全員で強い改善意識を持ち、お客様に絶対品質を提供し、ムダのゼロ化を追求すると共に最大効率を得る」事を目指し、2020年度からプロジェクトにて推進。製造工程を抜本的に見直す事で、品質と生産性向上の両立及び収益性の改善に繋がりました。



製造起因の市場クレーム発生率推移（絶対品質）



仕掛品 滞留時間推移（最大効率）



## 海外での取り組み

### Western社（インド）における顧客の多様性

Western社はインド国内において、飲料メーカー、食品メーカーをはじめ多数の大手企業や飲食店向け代理店等、幅広い顧客へ製品を販売。業績好調な一部顧客向けにはコロナ禍においても売上を伸ばしています。

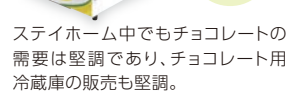
#### 多様な顧客層に適する製品

冷蔵ボトル  
ショーケース



ドリンクやスナック等をディスプレイできる冷蔵庫。外装全面で商品・ブランドをPRできるデザインも可能。

チョコレート用  
冷蔵庫



ステイホーム中でもチョコレートの需要は堅調であり、チョコレート用冷蔵庫の販売も堅調。

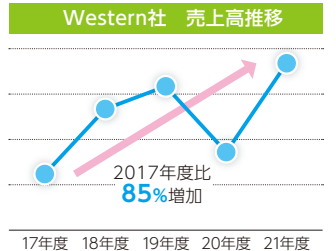
冷凍食品等  
向け冷蔵庫  
（ディープフリーザー）



保存のきかない食品を確保するため冷凍の需要が拡大。冷凍食品メーカーとの関係強化、スーパーマーケット向けの製品導入等、冷蔵庫の拡販を実施。

#### コロナ禍での成長

- 1** 多様な顧客層を保有しているため、コロナ禍においても業績好調な一部顧客向けの販売が貢献し、売上高を伸ばしています。
- 2** 新規顧客の開拓や、製品ラインナップの拡充により、より多様な顧客への販売拡大を図っています。



### 環境に配慮した取り組み

ホシザキグループでは、2009年より業務用では世界初となる自然冷媒のプロパン（R290）を用いた製氷機の製造・販売を開始。環境への意識が高まる中、市場ニーズに沿ったラインナップ拡充を推進しています。

#### 米州

##### 自然冷媒を使用した製品シリーズの拡販

2019年発売の“Steelheart”シリーズによりCO<sub>2</sub>を年間2.5万トン（21%減）削減しています。



#### 欧州

##### 環境配慮型商品の拡販

環境意識が高い欧州市場向けの自然冷媒使用製品です。  
製氷機売上高に占める環境配慮型の構成比が増加。（2017年約30% 2021年約87%）



#### アジア

##### 自然冷媒を使用した省エネ製品の発売

Western社（インド）の新商品として、自然冷媒を使用したノンフロンショーケースを発売。省エネ性にも優れ、電力消費を従来品比で最大17.8%削減しています。



# 連結財務ハイライト

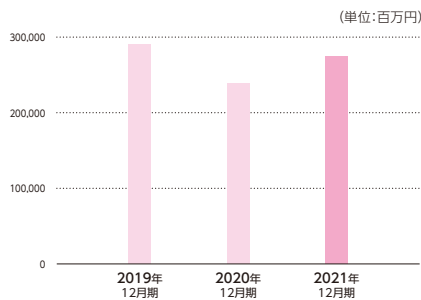
Consolidated Financial Highlights

## 連結財務ハイライト

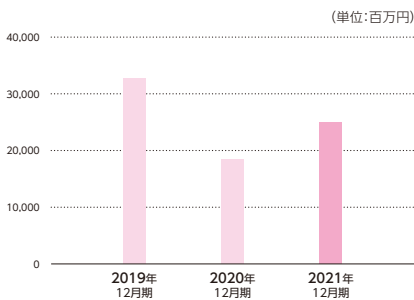
(単位：百万円)

	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
売上高	290,136	238,314	274,419
営業利益	32,664	18,447	24,931
経常利益	34,224	17,420	31,165
親会社株主に帰属する当期純利益	24,437	11,442	21,679
純資産	242,038	239,711	259,862
総資産	351,887	343,393	378,469

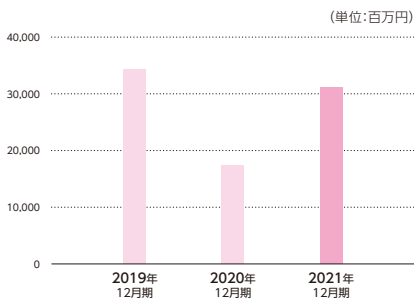
### 売上高



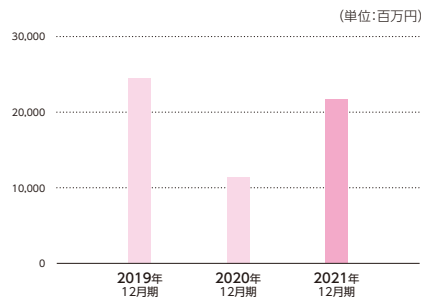
### 営業利益



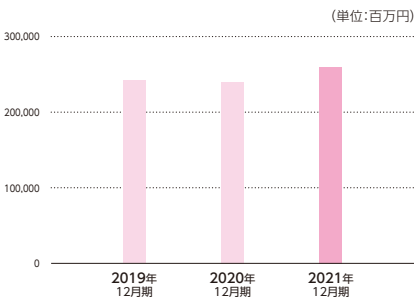
### 経常利益



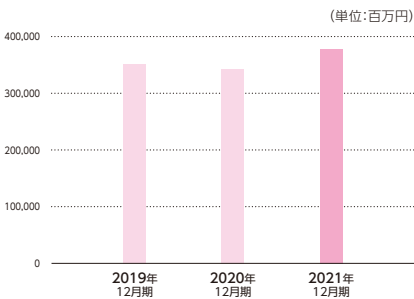
### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 純資産



### 総資産



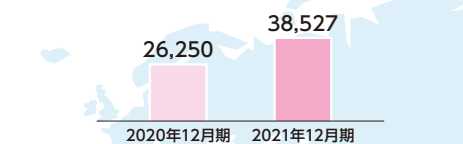
# 連結セグメント情報

Consolidated Segment Information

## 地域別売上高

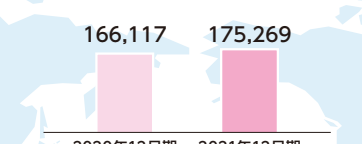
(単位：百万円)

### 欧州・アジア



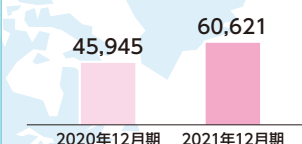
中華圏及び欧州は経済活動回復に伴い、飲食店向けを中心に主力製品の拡販に努めました。インドについては、厳しいロックダウンの中、樂ごもり消費の増加により、Western社の主力製品であるディープフリーザーのスーパーマーケット向け等への販売が好調に推移いたしました。その結果、売上高は385億27百万円(前期比46.8%増)、セグメント利益は34億44百万円(同193.6%増)となりました。

### 日本

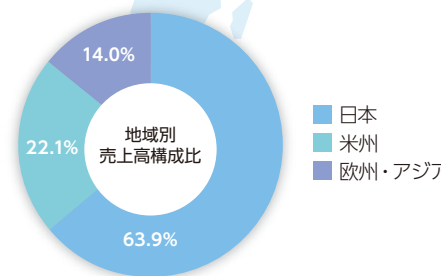


飲食店向け冷蔵庫、製氷機、食器洗浄機等主力製品の拡販に加え、コロナ禍で中食・宅配食にシフトする中、テイクアウトやデリバリー事業への展開を図る顧客に対し業態転換の支援を行ってきました。また、新型コロナウイルス感染症への感染予防と健康管理の強化といった新たな需要を捉え、電解水生成装置等の衛生管理機器拡販を行いました。また、飲食店以外の市場開拓も積極的に進めました。生産面では、世界的な材料や部品不足による調達制約が生じましたが、代替部品の調達及び代替部品の適用に必要な設計変更を迅速に行うことで、生産を維持しました。また、緊急事態宣言下の販売活動の制約等に対し、柔軟にコストコントロールを実施いたしました。その結果、売上高は1,752億69百万円(前期比5.5%増)、セグメント利益は164億80百万円(同15.0%増)となりました。

### 米州



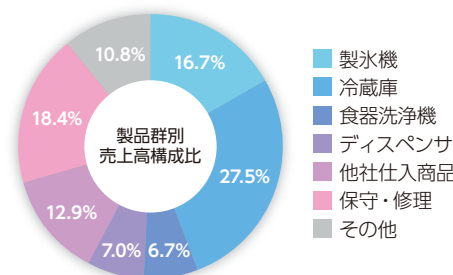
世界的な材料や部品不足による調達遅の影響を受け、好調な需要に対し、供給制約及び材料費高騰、人材リテンションコストの上昇等が発生し、収益性が悪化いたしました。通年では、レストラン再開に伴う需要が発生し、飲食店向け冷蔵庫、ディスプレイ、食器洗浄機等の販売が好調に推移いたしました。その結果、売上高は606億21百万円(前期比31.9%増)、セグメント利益は56億14百万円(同70.8%増)となりました。



※エリア等を基軸に各法人を集約した「日本」、「米州」、「欧州・アジア」をセグメントとしております。  
※各地域の売上高は「外部顧客に対する売上高」となっております。

## 製品別売上高

(単位：百万円)



	2020年12月期	2021年12月期
製氷機	40,491	45,725
冷蔵庫	58,564	75,528
食器洗浄機	14,723	18,300
ディスペンサ	16,530	19,243
他社仕入商品	30,986	35,321
保守・修理	47,072	50,578
その他	29,946	29,721
合計	238,314	274,419

連結貸借対照表

(単位：百万円)

1 流動資産

増益に伴う現金及び預金、生産増に対応した原材料及び貯蔵品が増加したことから、流動資産は前期末比334億4百万円増加し、3,106億45百万円となりました。

2 固定資産

インドの工場建設等に伴う建設仮勘定が増加したことから、固定資産は前期末比16億70百万円増加し、678億23百万円となりました。

3 資産合計

流動資産、固定資産が共に増加したことから、総資産は前期末比350億75百万円増加し、3,784億69百万円となりました。

	当期末 2021年12月31日現在	前期末 2020年12月31日現在	増減額
<b>資産の部</b>			
1 ▶ 流動資産	310,645	277,241	33,404
現金及び預金	240,723	217,212	23,511
受取手形及び売掛金	31,120	27,122	3,998
商品及び製品	14,806	14,549	256
仕掛品	4,775	3,642	1,133
原材料及び貯蔵品	15,974	10,214	5,760
その他	3,477	4,707	△1,230
貸倒引当金	△232	△207	△24
2 ▶ 固定資産	67,823	66,152	1,670
有形固定資産	43,174	42,345	828
建物及び構築物(純額)	15,156	15,295	△139
機械装置及び運搬具(純額)	6,649	7,092	△443
工具、器具及び備品(純額)	1,790	1,906	△116
土地	14,692	14,489	203
リース資産(純額)	753	687	65
建設仮勘定	4,132	2,874	1,258
無形固定資産	2,766	3,510	△744
投資その他の資産	21,883	20,296	1,586
投資有価証券	10,057	9,311	746
繰延税金資産	9,927	9,112	814
その他	2,105	2,075	29
貸倒引当金	△206	△203	△3
3 ▶ 資産合計	378,469	343,393	35,075

	当期末 2021年12月31日現在	前期末 2020年12月31日現在	増減額
<b>負債の部</b>			
流動負債	94,448	80,265	14,183
支払手形及び買掛金	26,070	16,052	10,018
未払法人税等	6,502	1,632	4,869
前受金	28,014	26,070	1,943
製品保証引当金	2,146	1,823	322
その他の引当金	2,986	2,849	136
その他	28,729	31,836	△3,107
固定負債	24,159	23,416	742
役員退職慰労引当金	246	238	7
退職給付に係る負債	19,995	19,835	160
製品保証引当金	1,264	994	270
その他	2,652	2,348	303
負債合計	118,607	103,681	14,925
<b>純資産の部</b>			
株主資本	262,579	248,803	13,776
資本金	8,052	8,021	31
資本剰余金	14,574	14,543	31
利益剰余金	239,958	226,244	13,713
自己株式	△6	△5	△0
その他の包括利益累計額	△4,752	△10,659	5,907
その他有価証券評価差額金	4	11	△6
為替換算調整勘定	△3,361	△8,829	5,468
退職給付に係る調整累計額	△1,395	△1,841	445
非支配株主持分	2,035	1,568	466
純資産合計	259,862	239,711	20,150
負債純資産合計	378,469	343,393	35,075

4 流動負債

仕入増加に伴う支払手形及び買掛金、増益に伴う未払法人税等が増加したことから、流動負債は前期末比141億83百万円増加し、944億48百万円となりました。

5 固定負債

固定負債は、7億42百万円増加し、241億59百万円となりました。

6 負債合計

流動負債、固定負債が共に増加したことから、負債合計は前期末比149億25百万円増加し、1,186億7百万円となりました。

7 純資産

純資産は、前期末比201億50百万円増加し、2,598億62百万円となりました。

## 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 2021年1月1日～ 2021年12月31日	前期 2020年1月1日～ 2020年12月31日	増減額
売上高	274,419	238,314	36,104
売上原価	174,727	149,261	25,466
売上総利益	99,691	89,053	10,638
販売費及び一般管理費	74,760	70,605	4,154
営業利益	24,931	18,447	6,483
営業外収益	6,509	2,204	4,304
受取利息	394	719	△325
為替差益	5,373	—	5,373
その他	741	1,484	△743
営業外費用	275	3,232	△2,956
支払利息	42	34	8
寄付金	73	82	△9
為替差損	—	2,307	△2,307
一時帰休費用	—	671	△671
その他	158	135	22
経常利益	31,165	17,420	13,744
特別利益	120	83	37
投資有価証券売却益	116	77	38
その他	4	5	△1
特別損失	54	215	△161
固定資産廃棄損	51	40	10
投資有価証券評価損	—	125	△125
その他	3	49	△46
税金等調整前当期純利益	31,231	17,288	13,943
法人税、住民税及び事業税	10,166	5,144	5,022
法人税等調整額	△937	519	△1,456
法人税等合計	9,229	5,663	3,565
当期純利益	22,002	11,624	10,378
非支配株主に帰属する当期純利益	322	181	140
親会社株主に帰属する当期純利益	21,679	11,442	10,237

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 2021年1月1日～ 2021年12月31日	前期 2020年1月1日～ 2020年12月31日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,343	20,734	6,609
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,238	△1,229	6,468
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,122	△8,281	158
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,323	△5,193	13,516
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	32,782	6,029	26,753
現金及び現金同等物の期首残高	148,833	142,803	6,029
現金及び現金同等物の期末残高	181,615	148,833	32,782

### 8 売上高

国内の飲食市場においては、夕方店を中心にコロナ禍の影響が継続するも、昼間店を中心に前期の営業活動制限からの反動などにより増収となり、また、飲食外市場においても、商店・加工販売・農林水産業などの業種で増収となりました。海外では、前期の営業活動停滞からの反動により、全てのセグメントで大幅増収となり、その結果、売上高は前期比15.2%増の2,744億19百万円となりました。

### 9 営業利益／経常利益

国内外共に、原材料価格の高騰等の影響を受けたものの、売上増に伴い増益となり、営業利益は前期比35.1%増の249億31百万円となり、営業外損益に外貨預金等による為替差益53億円を計上したことにより、経常利益は前期比78.9%増の311億65百万円となりました。

### 10 親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比89.5%増の216億79百万円となりました。

### 11 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、273億43百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が312億31百万円あったことによるものです。

### 12 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、52億38百万円の収入となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が55億98百万円でありましたが、一方で定期預金の純減による収入が115億1百万円あったことによるものです。

### 13 現金及び現金同等物の期末残高

現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ327億82百万円増加し、181億615百万円となりました。

## 株式関連情報 (2021年12月31日現在)

Stock Information

### 株式の状況

発行可能株式総数	250,000,000 株
発行済株式の総数	72,427,650 株
株主数	4,193 名

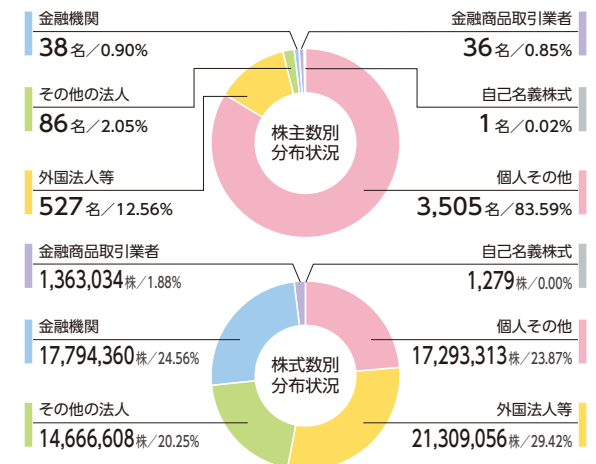
(注)当社は、2022年2月9日開催の取締役会決議において、2022年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割すること及び効力発生日をもって発行可能株式総数を500,000,000株とすることを決議しております。これに伴い、効力発生日をもって発行済株式の総数は144,855,300株となります。

### 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) …	9,015	12.44
坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社 …	6,203	8.56
公益財団法人ホシザキグリーン財団 …	5,800	8.00
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055 …	3,136	4.33
ホシザキグループ社員持株会 …	2,437	3.36
株式会社日本カストディ銀行(信託口) …	2,360	3.25
一般財団法人ホシザキ新星財団 …	1,583	2.18
ジェーピー モルガン バンク ルクセンブルク エスエイ 381572 …	1,266	1.74
坂本 美由紀 …	1,135	1.56
ジェーピー モルガン チェース バンク 385635 …	1,093	1.51

(注)持株比率は自己株式(1,279株)を控除して計算しております。

### 株式分布状況



## 国内外ネットワーク (2021年12月31日現在)

Domestic and Overseas Network

### ホシザキ株式会社

- 本社 / 愛知県 豊明市
- 島根本社工場 / 島根県 雲南市

### 国内グループ会社

- ホシザキ北海道株式会社 / 北海道 札幌市
- ホシザキ東北株式会社 / 宮城県 仙台市
- ホシザキ北関東株式会社 / 埼玉県 さいたま市
- ホシザキ中国株式会社 / 広島県 広島市
- ホシザキ関東株式会社 / 東京都 文京区
- ホシザキ四国株式会社 / 香川県 高松市
- ホシザキ東京株式会社 / 東京都 品川区
- ホシザキ北九株式会社 / 福岡県 福岡市
- ホシザキ湘南株式会社 / 神奈川県 横浜市
- ホシザキ南九州株式会社 / 鹿児島県 鹿児島市
- ホシザキ北信越株式会社 / 石川県 金沢市
- ホシザキ沖縄株式会社 / 沖縄県 那覇市
- ホシザキ東海株式会社 / 愛知県 名古屋
- 株式会社ネスター / 愛知県 大府市
- サンセイ電機株式会社 / 島根県 雲南市

### 海外グループ会社

- HOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC. / 米国
- HOSHIZAKI AMERICA, INC. / 米国
- HOSHIZAKI SOUTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国
- HOSHIZAKI WESTERN DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国
- HOSHIZAKI NORTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国
- HOSHIZAKI NORTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国
- HOSHIZAKI SOUTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国
- Jackson WWS, Inc. / 米国
- LANCER CORPORATION / 米国
- LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE / メキシコ
- INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE / メキシコ
- SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V. / メキシコ
- HOSHIZAKI LANCER PTY LTD / 豪州
- HOSHIZAKI LANCER LIMITED / ニュージーランド
- Lancer Europe / ベルギー
- 嵐瑟(上海)飲料機械設備有限责任公司 / 中国
- Aços Macom Indústria e Comércio Ltda. / ブラジル

米州

欧州・アジア

- Hoshizaki Europe Holdings B.V. / オランダ
- HOSHIZAKI EUROPE LIMITED / 英国
- Hoshizaki Europe B.V. / オランダ
- Öztiryakiler Madeni Eşya San. ve Ticaret Anonim Şirketi / トルコ\*
- Western Refrigeration Private Limited / インド
- HOSHIZAKI (THAILAND) LIMITED / タイ
- HOSHIZAKI MALAYSIA SDN. BHD. / マレーシア
- HOSHIZAKI SINGAPORE PTE LTD / シンガポール
- HOSHIZAKI VIETNAM CORPORATION / ベトナム
- PT. HOSHIZAKI INDONESIA / インドネシア
- HOSHIZAKI PHILIPPINES CORPORATION / フィリピン
- 星崎香港有限公司 / 香港
- 星崎(中国)投資有限公司 / 中国
- 星崎冷熱機械(上海)有限公司 / 中国
- 星崎電機(蘇州)有限公司 / 中国
- 台湾星崎股份有限公司 / 台湾
- Hoshizaki Korea Co., Ltd. / 韓国

\*は持分法適用会社。他は全て連結子会社。